

オンボロ物件を加えても 相場の半値で新築そっくりに変貌させ 利回り20%のお宝物件に変換する方法



本日お伝えする内容

業界の『構造』を逆手に取る コストカット術

- 1. なぜリフォーム費用は千差万別
- 2. リフォーム業界の全体像
- 3. リフォーム業界の利益構造

メリット



- ・業界の仕組みを知ることができる
- ・業者毎に大きく工事費が異なる理由が分かる
- ・依頼すべき業者が分かる
- ・ぼったくり防止になる

1.そもそも不動産屋って何?

不動産会社(ふどうさんがいしゃ)とは、主として不動産の売買、交換、賃貸、 管理及び、売買・交換・賃貸の代理もしくは仲介を行う会社のことである。 みずから開発、分譲を行うものはデベロッパーと呼ばれる。

しかし、一般的に言われる不動産業者は幅が広い

 売買
 分譲
 リフォーム
 マンション 管理

 賃貸
 土木
 外構
 建築

1-2.賃貸管理業者の言いなりは地獄のはじまり

賃貸仲介業者はあなたのことを考えない

- ・とにかく家賃を下げて決めたい。
- ・楽な物件から決めたい

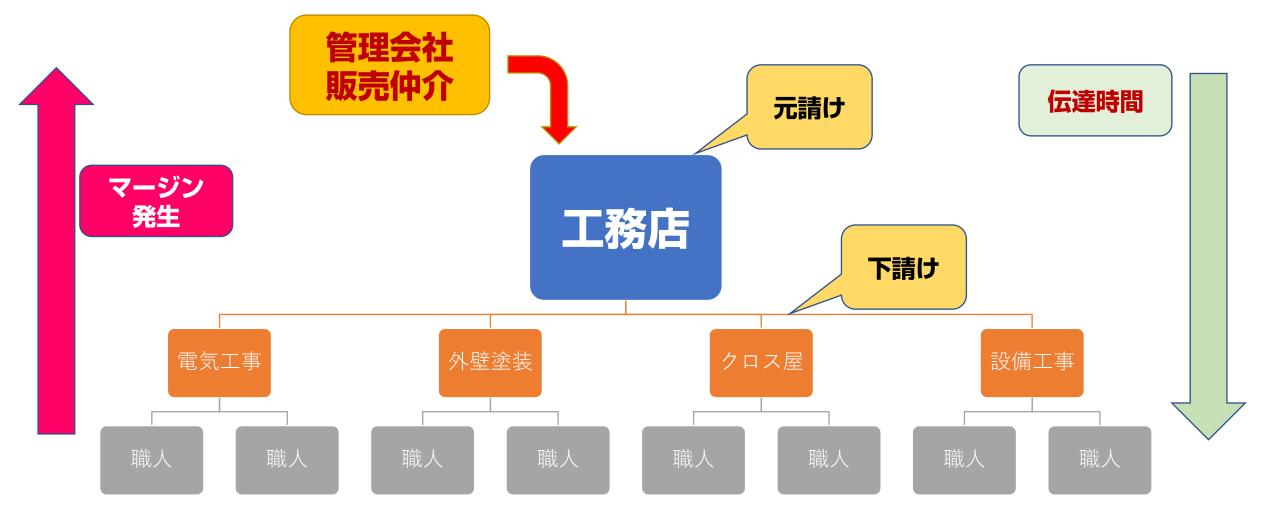
リフォームはフルリフォームさせて 相場より安い物件に仕上げて管理料を取りたい。 上手くいけばリフォーム代でも稼ぎたい!

2.リフォーム屋も多数存在

一般的なイメージです。絶対ではありません。

ジャンル	建築事務所	住宅会社 (大手)	建設会社 (大手)	工務店	専門業者	ホーム センター
自社施工	×	×	×	\triangle	0	×
金額	高	激高	激高	中	中以下	中より 若干上
安定度	吉	高	高	中	中	高
トラブル	少	少	少	中	中	少
主戦場	新築	新築	難易度が 高い案件	新築、 リフォーム 全般	それぞれの 分野	全般

3.リフォーム業界の階層



ひとつの専門会社だけでは、思うようにリフォームができないこともある

3-2. 利益配分イメージ



材料費

人件費

下請け 利益

元請け利益

100万円

100万円

100万円

100~200万円

400~500万円の リフォーム工事 各作業者、元請け、下請けに利益配分が行われる。 ゆえに材料費と人件費だけがリフォーム代とは限らない。

会社や業者によって 構造的に値引きに 限界がある

3-2.職人一覧

実際に職人さんがどれだけいるのか? 職種を見てみよう

https://center-home.net/chottoiiie/shokunin/



4.相場の基本

広告宣伝費

見積り工賃

仕入れ工賃

材料費

施工費

リスク保証

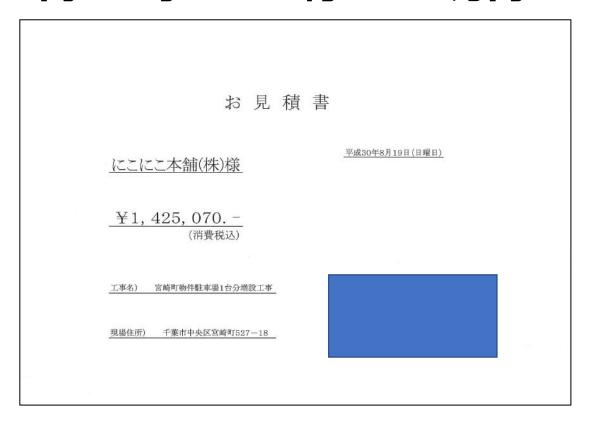
アフター

会社運営

利益

4-2.リアルな見積もりの差額

同じ工事でも 約142万円 と 約32万円 の差が出る





5 リフォーム工事で 良くある失敗例3



5-1.やみくもに見積もりを取る

- やらないよりはいい!しかし…
- マーケティングができていないとボロボロ

ターゲット	品質重視	価格重視	
リフォーム内容	高価格、高単価	現状維持、掃除でカバー	
メリット	クレーム、滞納が少ない	短期的な利回りがアップ	
デメリット	短期的に利回りが落ちる	クレーム、滞納リスク、値引き交渉、 退去時の原状回復問題など。	
入居までの期間	長め	短め	

5-2. 紙められる



- 素人だと思われるといきなり高額請求が当たり前。
- リフォーム屋さんも仕事。取れるときに取らないと廃業してしまう。



この人は・・・、 吹っ掛けられるのか? 吹っ掛けられないのか?

> 見積もりのフォーマットが全社違うので 舐められても簡単には気づけないことが多い

5-3.総額だけで判断する

• 三者三様の見積書は総額だけで判断しない



理由;

各社のリフォームによるターゲットも異なる リフォーム個所が全社同じとは限らない

実際の見積書を見てみましょう。

目指すべき姿とは?

やみくも

→ マーケティングを元に 計画的、戦略的に実施

舐められる

→ 足元を見られない知識、 経験、ノウハウを手にする

総額だけで判断

→ 各項目ごとに詳しく分析できる 知識、経験を手にする

課題

・職人さんの職種を知ろう

家一軒を建てるまでに どんな職人さんや職業があるのか? インターネットで調べてみよう。

